

**平成28年度
消費税軽減税率
対策窓口相談等事業**

報 告 書

平成29年3月

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構

ま え が き

本報告書は平成28年度中小企業庁補助事業「消費税軽減税率対策窓口相談等事業」により実施した消費税軽減税率制度に関する説明会の成果等を取りまとめたものです。

本事業では消費税軽減税率に対する疑問・質問に対応するための相談窓口を設けるとともに、消費税軽減税率及び軽減税率対策補助金制度について解説するための説明会を全国17会場で開催し、巡回指導型専門家派遣による説明会も全国6会場で開催しました。

末筆ながら、本事業の実施にあたり関係各位に多大なご協力をいただきましたことを、ここに厚く御礼申し上げます。

平成29年3月

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構

目 次

1	事業概要	4
1.1	事業の背景および目的	4
1.2	事業実施体制	4
2	消費税軽減税率制度に関する全国説明会開催状況	5
2.1	プログラム（各会場共通）	5
2.2	セミナー開催状況	6
2.3	セミナーの様様(スナップ)	7
2.4	巡回型派遣実施状況	8
2.5	アンケート	9
2.5.1	アンケート回収率	9
2.5.2	アンケート内容	10
2.5.3	アンケート結果（全会場計）	10
3	総括	14
4	参考資料	16
4.1	全国説明会配布資料	16
4.1.1	講演テキスト	16
4.1.2	その他の配布資料（参考資料）	25
4.2	アンケート結果	26
4.2.1	仙台会場（7/15）	26
4.2.2	札幌会場（7/29）	27
4.2.3	新潟会場（8/23）	28
4.2.4	金沢会場（8/30）	29
4.2.5	静岡会場（9/12）	30
4.2.6	名古屋会場（9/16）	31
4.2.7	広島会場（10/6）	32
4.2.8	岡山会場（10/7）	33
4.2.9	福岡会場（11/18）	34
4.2.10	鹿児島会場（11/28）	35
4.2.11	宇都宮会場（12/2）	36
4.2.12	東京会場（12/8）	37
4.2.13	高松会場（1/13）	38
4.2.14	長野会場（1/19）	39
4.2.15	沖縄会場（1/27）	40

4.2.16	大阪会場 (2/16)	41
4.2.17	京都会場 (2/17)	42

1 事業概要

1.1 事業の背景および目的

社会保障と税の一体改革の下、低所得者に配慮する観点から、「酒類・外食を除く飲食物品」と「定期購読契約が締結された週2回以上発行される新聞」を対象に、消費増税にともなう「軽減税率制度」が平成31年10月に導入されることとなった。そのため、消費税軽減税率及び軽減税率対策補助金制度等について相談窓口を設けるとともに全国で説明会を開催し、特に食品流通事業者等に対する本制度の周知を目的とした。

1.2 事業実施体制

公益財団法人食品流通構造改善促進機構（以下「食流機構」という。）が事務局を担い、消費税軽減税率制度に関する相談窓口を設置し、中小企業診断士の資格を持つ講師による説明会を全国で開催した。なお、説明会ではシステムベンダー4社（株式会社サイバーリンクス、株式会社寺岡精工、東芝テック株式会社、イーサポートリンク株式会社）の協力を得て、相談・展示ブースを設けた。

消費税軽減税率対応相談事業

(公財)食品流通構造改善促進機構【事務局】

- ▼事業の総合企画 ▼消費税軽減税率制度に関する相談窓口の設置
- ▼報告書の作成 ▼消費税軽減税率制度に関する全国説明会の開催

消費税軽減税率制度に関する全国説明会の開催【全17会場】

【講演内容】

- 消費税軽減税率及び軽減税率対策補助金制度の解説と食料品店の今後の経営

【相談・展示コーナー】

- システムベンダーによる相談及びシステム・機材等の紹介
- 【出展・協力企業：株式会社サイバーリンクス 株式会社寺岡精工
東芝テック株式会社 イーサポートリンク株式会社】

実施体制図

2 消費税軽減税率制度に関する全国説明会開催状況

本説明会は全国17会場で開催し、食品流通事業者やその関係団体を対象に、軽減税率（軽減対象品目の内容、税額計算の方法など）及び軽減税率対策補助金制度と食料品店の今後の経営について、中小企業診断士の資格を持つ専門家が分かり易く解説した。

また、同会場において複数税率対応レジや受発注システムに関する「展示ブース」を併設し、出展したシステムベンダーがより具体的な相談にも対応した。

2.1 プログラム（各会場共通）

時間	講演内容
13:00～13:05	主催者挨拶
13:05～14:30	消費税軽減税率及び軽減税率対策補助金制度の解説と食料品店の今後の経営 (講師) 杏林大学総合政策学部 非常勤講師 佐藤 卓 氏
14:30～15:00	<相談・展示コーナー>での相談及びシステム・機材等の紹介
15:00	閉会

【講師略歴】佐藤 卓（さとう たかし）

経 歴

- 1976 東京理科大学工学部経営工学科卒業
- 1979 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了
- 1979 中小企業診断士 工鉱業部門登録
- 1987 中小企業診断士 情報（流通）部門登録
- 1987 情報システムコンサルタント
(日本情報システム・ユーザー協会) 登録
- 2012～ 杏林大学 総合政策学部 非常勤講師

所属学会

- 経営情報学会 / 日本経営診断学会

著 書

- 中小企業診断士の「経営診断・支援原則」と「業務遂行指針」
(平成16年3月、編、同友館)
- コンサルティング・イノベーション (平成16年11月、共著、同友館)
- その他、著書多数



2.2 セミナー開催状況

開催日	会場	参加人数	相談・展示ブース※
7月15日(金)	仙台（仙台市中央卸売市場本場 管理棟3階 会議室）	50名	S
7月29日(金)	札幌（札幌市中央卸売市場 水産棟4階 会議室A・B）	67名	S
8月23日(火)	新潟（新潟市中央卸売市場 中央棟4階 大会議室）	48名	S・TS
8月30日(火)	金沢（金沢中央市場 食育会館スタジオDO）	31名	S・TS
9月12日(月)	静岡（B-nest 静岡市産学交流 センター プレゼンテーションルーム）	34名	S・TS ・TT
9月16日(金)	名古屋（AP名古屋. 名駅7階 L会議室）	56名	S・TS ・TT
10月6日(木)	広島（広島市中央卸売市場 管理棟3階 大会議室）	42名	TS・TT
10月7日(金)	岡山（岡山市中央卸売市場 管理棟3階 大会議室）	37名	TS・TT
11月18日(金)	福岡（博多バスターミナル9階 第9・10会議室）	36名	TS・TT
11月28日(月)	鹿児島（ホテルタイセイアネックス 4-Aホール）	31名	TS・TT
12月2日(金)	宇都宮（栃木県総合文化センター ギャラリー棟3階 特別会議室）	21名	S・TS ・TT
12月8日(木)	東京（コートヤード・マリオット 銀座東武ホテル3階「龍田」）	65名	S・TS ・TT・E
1月13日(金)	高松（高松市中央卸売市場 管理棟5階 大ホール）	42名	TS・TT
1月19日(木)	長野（JA長野県ビル 12A会議室）	31名	TS・TT
1月27日(金)	沖縄（沖縄県立博物館 博物館講座室）	20名	TS・TT
2月16日(木)	大阪（大阪市中央卸売市場本場 業務管理棟16階大ホール）	50名	S・TS ・TT
2月17日(金)	京都（京都市中央卸売市場第一市場 10号棟3階 大会議室）	40名	TS

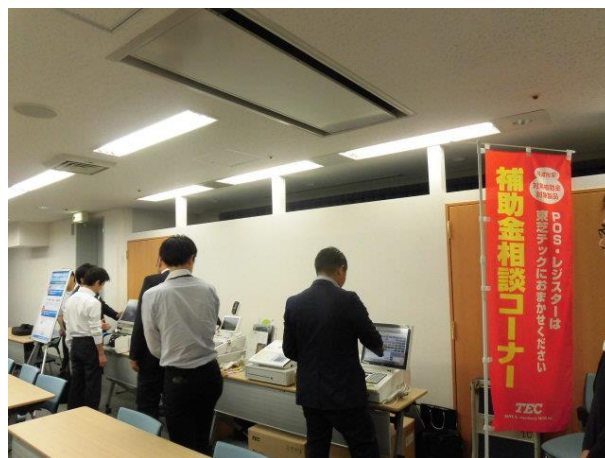
合計 701名

※（対応企業）S：サイバーリンクス、TS：岡精工、TT：東芝テック、E：イーサポートリンク

2.3 セミナーの様様(スナップ)



受講風景 (7/29 札幌会場)



相談・展示ブース (9/16 名古屋会場)



出展企業によるサービス紹介 (10/6 広島会場)



主催者あいさつ (11/18 福岡会場)



佐藤講師 (2/16 大阪会場)



展示機器類 (2/17 京都会場)

2.4 巡回型派遣実施状況

開催日	会場	参加人数	派遣先
6月10日(金)	静岡 (ホテルプリヴェ静岡ステーション5階 ファミーユ)	30名	全国茶商工業協同 組合連合会
2月2日(木)	東京 (アルカディア市ヶ谷)	15名	(一社)全国牛乳流 通改善協会
3月2日(木)	盛岡 (アイーナいわて県民情報交流センター 研修室812)	15名	生鮮取引電子化推 進協議会
3月14日(火)	熊本 (くまもと田崎市場市場会館 4階大会議室)	30名	生鮮取引電子化推 進協議会
3月23日(木)	東京 (新日本スーパーマーケット協会 セミナー室)	25名	オール日本スーパ ーマーケット協会
3月24日(金)	東京 (東京都中央卸売市場大田市場 2階大ホール)	43名	生鮮取引電子化推 進協議会

合計 158名

2.5 相談窓口の設置

相談窓口は電話受付、機構ホームページ（メール受付・FAX受付）での受付を、平成28年4月18日に開設し、相談件数は4件であった。

4月 1件、5月3件

【相談会説明ポイント】

- ①消費税軽減税率制度のポイント
- ②消費税軽減税率の対象となる品目
- ③帳簿及び請求書等の記載と保存
(区分記載請求書等の保存方式)
- ④税額計算の特例
(売上又は仕入に係る税額の計算特例)
- ⑤適格請求書等保存方式
(いわゆるインボイス方式)
- ⑥消費税軽減税率の対象品目か否かの判定の留意点
- ⑦消費税軽減税率対策補助金制度の概要
- ⑧経理・会計処理上の留意点等 等

2.5 アンケート

消費税軽減税率制度に関する全国説明会終了後、参加者に対するアンケートを実施した。アンケート内容及び結果は以下のとおり。

2.5.1 アンケート回収率

会場	参加者数	アンケート回収数	アンケート回収率
仙台	50名	45	90.0%
札幌	67名	45	67.2%
新潟	48名	21	43.8%
金沢	31名	18	58.1%
静岡	34名	13	38.2%
名古屋	56名	31	55.4%
広島	42名	24	57.1%
岡山	37名	17	45.9%
福岡	36名	18	50.0%
鹿児島	31名	23	74.2%
宇都宮	21名	12	57.1%
東京	65名	41	63.1%
高松	42名	28	66.7%
長野	31名	16	51.6%
沖縄	20名	11	55.0%
大阪	50名	25	50.0%
京都	40名	22	55.0%
合計	701名	410	58.5%

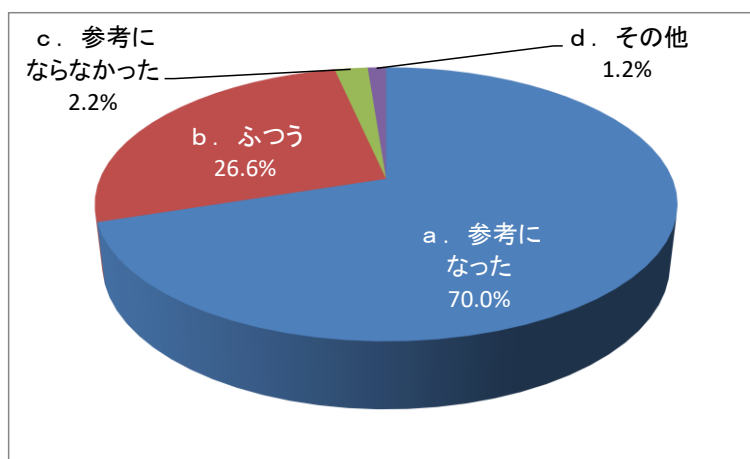
2.5.2 アンケート内容

質問項目		選択肢
1	本説明会は参考になったか	a. 参考になった b. ふつう c. 参考にならなかった d. その他
2	消費税軽減税率制度についてのご意見	自由回答
3	消費税軽減税率対策補助金について	a. 知っていた・利用したい b. 知らなかった・利用したい c. 知っていた・利用する予定はない d. 知らなかった・利用する予定はない
4	これから導入したいシステム・機器等	自由回答
5	ITベンダー等のサポート希望の有無	—
6	アンケート記入者	a. 生産者・出荷団体 b. 卸・仲卸業 c. 小売業 d. 業界団体 e. 官公庁 f. システム会社 g. その他

2.5.3 アンケート結果（全会場計）

(1) 本説明会は参考になったか

質問事項	回答割合
a. 参考になった	70.0%
b. ふつう	26.6%
c. 参考にならなかった	2.2%
d. その他	1.2%



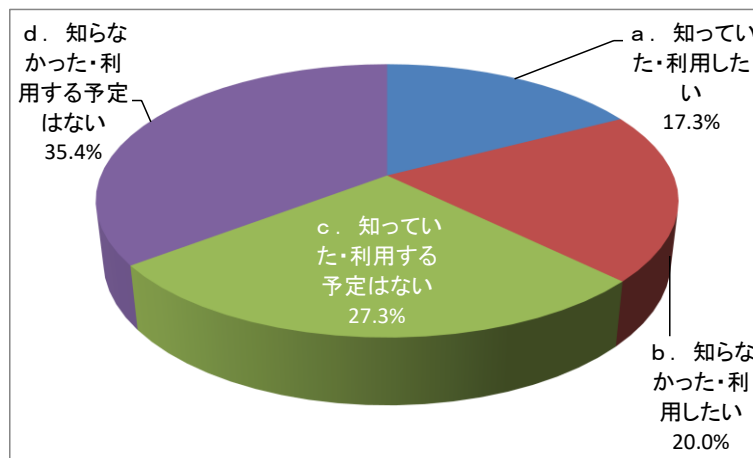
本説明会について

(2) 消費税軽減税率制度についてのご意見（抄出）

- ▶ 食品を入れて販売するための資材は 10%のままでよいのか。食品が 8%なのは有り難いが、現場では手計算なので、税率が違うのは大変。（卸・仲卸）
- ▶ まだ決定されていない事項があるので、これからも注目して対応する必要があると感じた。（卸・仲卸）
- ▶ 中小企業には事務負担が大き過ぎる。導入を機に廃業する方も多い見込みである。別途、店頭での表示は外税表示に統一してほしい。（業界団体）
- ▶ 制度に関しては理解できるが、システム導入に当たっては社内の勉強会が必要で、正直面倒な制度。（卸・仲卸）
- ▶ 2種類の消費税について、目的を明確にできないと振り分けが難しい。（卸・仲卸）
- ▶ 制度そのものが不要だと思う。導入に伴うコストと混乱を考えると無駄な制度ではないか。（卸・仲卸）
- ▶ 我々、水産物仲卸業は、取扱商品は軽減税率が適用されるので、難しい問題はないと思う。（卸・仲卸）
- ▶ 境界線が曖昧で、現場が混乱する。費用を掛けて、機器・システムの変更をしなければならない。税率は一本化すべき。（卸・仲卸）
- ▶ 手間が掛かるだけなので、個人的には全て 10%にしてほしい。食品業としては運送費や間接費用は全て 10%で支払うことになるが、値上げがしにくいのではと心配。消費者心理としては「軽減税率対象の商品がなんで値上げ？」となるのではないか。（システム会社）
- ▶ 食料品の 8%と 10%の区分が難しい。区分の理由、判断の根拠が不明確。理解できるような説明がほしい。（卸・仲卸）
- ▶ 本制度の導入目的として、低所得者保護をうたっているが、所得税還付や給付金での対応が望ましい。この制度は中間流通業者の負担が大き過ぎる。（卸・仲卸）
- ▶ 酒類・食品卸の会社ももっとも軽減税率制度のマイナス面の影響を受けると思われる。反対したが、導入が確定となって苦慮している。取り敢えず延期となったので、若干の余裕ができたというのが実感。（卸・仲卸）
- ▶ テイクアウトが増えるので、店に賑わいがなくなるのではないか。（官公庁）
- ▶ 適格請求者等保存方式で、請求書に単品が書かれた例があるが、B to Bの請求書でこのようなものを見たことがない。通常は伝票Noの一覧で請求しているはず。各伝票No毎に単品は分かるようになっている。全部をそのように書くと段ボール1箱では足りない量の請求書を送らないといけなくなる。本当に現実的か疑問。レシートなら分かるが・・・。（業界団体）
- ▶ 軽減税率対象商品をどの様に商品マスタに反映させるのか。「区分記載請求書」と「適格請求書」を正しく理解して運用できるか疑問。（卸・仲卸）

(3) 消費税軽減税率対策補助金について

質問事項	回答割合
a. 知っていた・利用したい	17.3%
b. 知らなかった・利用したい	20.0%
c. 知っていた・利用する予定はない	27.3%
d. 知らなかった・利用する予定はない	35.4%



講演内容について

(4) これから導入したいシステム・機器等

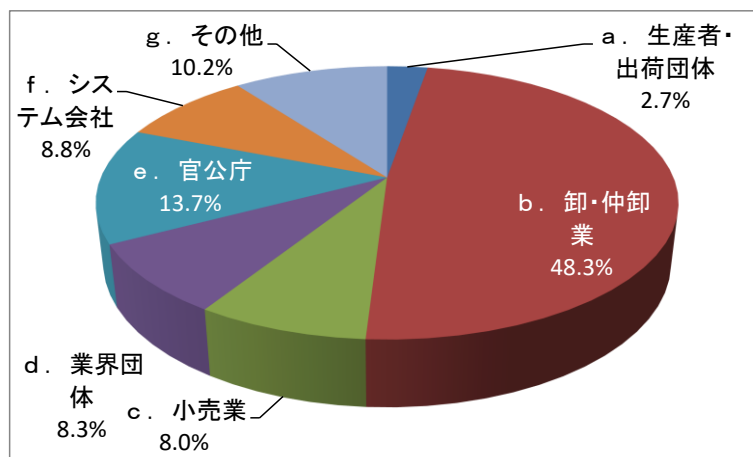
- ▶ 請求書・販売管理の自動システム（現在のシステムの転用）：水産仲卸組合の共同化になると思う。（卸・仲卸）
- ▶ レジ屋さんが来て、説明してもらい、レジを導入した。
- ▶ 受発注システム（小売業）
- ▶ 店のレジ（小売業）
- ▶ レジスター（生産者・出荷団体）
- ▶ 販売システム。（卸・仲卸）
- ▶ POSレジ・受発注システム。（卸・仲卸）（小売業）
- ▶ 取引における会計システムの新規導入。（卸・仲卸）
- ▶ オリジナルのシステムがあるので、それが利用できるか知りたい。（卸・仲卸）
- ▶ B型（1,000万円補助）を利用予定。（業界団体）
- ▶ 軽減税率対応の請求書等発行システム。（卸・仲卸）
- ▶ 複数税率対応レジと受発注システム（小売業）
- ▶ 組合の受発注システムと組合員の「レジ改修」への情報提供。（小売業）
- ▶ EDI等の受発注システム、会計システム、販売管理システム。（その他）

(5) ITベンダー等のサポート希望の有無

- ▶ 新潟会場 1社 (青果卸売会社)
- ▶ 金沢会場 1社 (食品卸売会社)
- ▶ 静岡会場 1社 (お茶卸売会社)
- ▶ 東京会場 2社 (食肉加工会社、水産物卸売会社)
- ▶ 高松会場 1社 (青果卸売会社)
- ▶ 長野会場 1社 (食品販売会社)

(6) アンケート記入者

質問事項	回答割合
a. 生産者・出荷団体	2.7%
b. 卸・仲卸業	48.3%
c. 小売業	8.0%
d. 業界団体	8.3%
e. 官公庁	13.7%
f. システム会社	8.8%
g. その他	10.2%



アンケート記入者

3 総括

社会保障と税の一体改革の下、低所得者に配慮する観点から、消費増税にともなう「軽減税率制度」が平成31年10月に導入されることとなった。そのため、当機構では中小企業庁補助事業「消費税軽減税率対策窓口相談等事業」を実施し、主に中小の食品流通事業者等に対する本制度の周知を目的として、消費税軽減税率及び軽減税率対策補助金制度等について相談窓口を設けるとともに全国説明会を開催し、併せて6回の巡回型講師派遣を実施した。

全国説明会は、中小企業診断士の資格を持ち税制にも明るく、食品流通業に関するコンサルティング業務に長年携わっている講師を招き、平成28年7月以降、全国17地区で開催して合計701名の参加者を動員した。また、中小の食品流通事業者、とりわけ生鮮食品の卸・仲卸業者が参加し易いように、会場は出来るだけ中央卸売市場内に設定し、各会場には相談・展示ブースを設け、システムベンダーの協力を得てPOSレジやPCの実機を展示し、説明会終了後に参加者の具体的な相談にも応じた。さらに、関連団体にも個別に同講師を派遣し、都合6回の派遣により155名の聴講者に対し軽減税率制度に関する説明を行った。なお、全国説明会については、開催地区に事前に赴き、当地の農政局や関係者、関係団体等に本説明会への参加及び周知協力を促すとともに、全国の食品卸売企業や食品小売店、関連団体等にも約5千通のダイレクトメールを発送して参加者動員に努めた。

全国説明会では参加者に対するアンケートを行い、参加者701名に対し410名から有効回答を得た（回収率58.5%）。その結果をみると、約7割から「参考になった」という回答があり、これに「ふつう」を加えるとほぼ10割となり、説明会は概ね有効であったと考える。軽減税率制度に関する個別意見については、「まだ決定されていない事項があるので、これからも注目して対応する必要があると感じた。（卸・仲卸）」「中小企業には事務負担が大き過ぎる。導入を機に廃業する方も多い見込みである。（業界団体）」「制度に関しては理解できるが、システム導入に当たっては社内の勉強会が必要で、正直面倒な制度。（卸・仲卸）」「境界線が曖昧で、現場が混乱する。費用を掛けて、機器・システムの変更をしなければならない。税率は一本化すべき。

（卸・仲卸）」「本制度の導入目的として、低所得者保護をうたっているが、所得税還付や給付金での対応が望ましい。この制度は中間流通業者の負担が大き過ぎる。（卸・仲卸）」「テイクアウトが増えるので、店に賑わいがなくなるのではないか。（官公庁）」といった、ややネガティブな意見が多数を占めた。

一方、消費税軽減税率対策補助金については、「知らなかった・利用する予定はない」という回答が一番多く（3割強）、「知っていた・利用する予定はない」を合わせると約6割であったが、「知らなかった・利用したい」という回答も2割あったので、さらに本制度の周知を進める必要があるものと思われる。

なお、アンケート記入者については、主ターゲットに想定していた「卸・仲卸業」が約5割と最も多かった一方、軽減税率導入による影響が最も大きいと思われる「小売業」の参加割合が1割弱と少なかった点は反省材料としてあげられる。

消費税増税が2年半延期されることが正式に決まったのは、本事業を実施中の平成28年11月末だったが、当初から延期が既定路線となっていたため、軽減税率導入はまだまだ先の話だという認識が全般的にあり、全国説明会の参加者についても想定した人数（各会場80名）の集客は難しかった。しかし、アンケート結果からも推察されるとおり、本制度についての理解はまだ十分とはいえず、複雑な制度に対応するためにはIT導入が必要だと思われるが、そのための補助金の利用も進んでいない。このような状況を鑑みるに、直前になっての混乱を避けるためにも、さらなる継続的な取組が望まれるため、当機構としても引き続き軽減税率制度についての周知活動に努めていく所存である。

4 参考資料


4.1 全国説明会配布資料

4.1.1 講演テキスト

消費税軽減税率及び 軽減税率対策補助金制度の 説明と食料品店の今後の経営

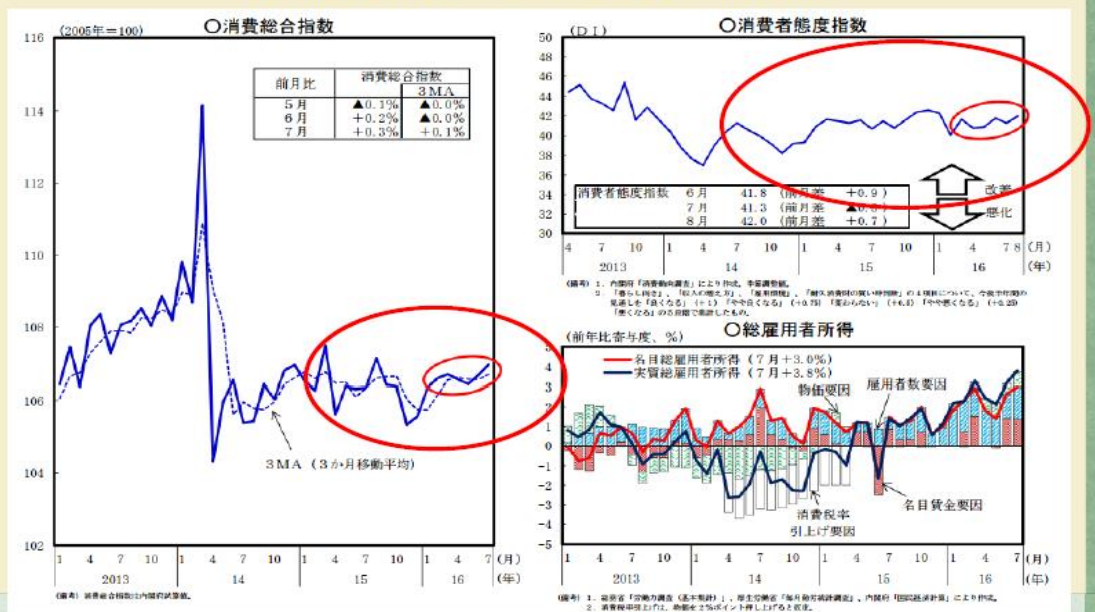
～新業態への挑戦～

中小企業診断士 佐藤 卓



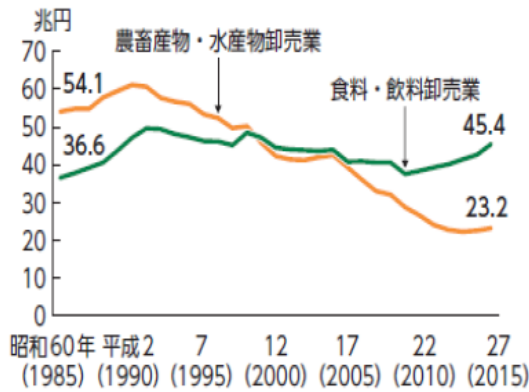
1. どこに行くのか消費税 ～遅れている8%の回復～

月例経済報告 9/16発表 (内閣府)



2. 中小食品小売店の売上は減少

食品卸売業の商業販売額の推移

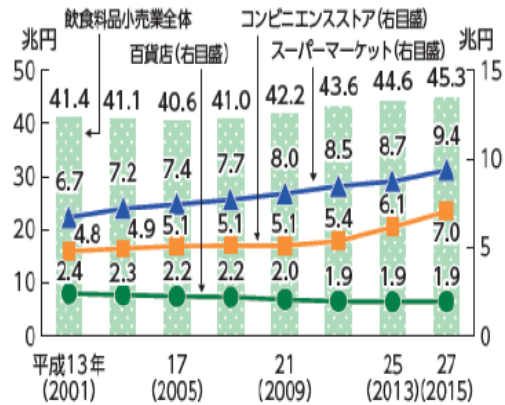


資料：経済産業省「商業動態統計」



消費税10%時代を生き残る業態づくり

業態別の食料品販売額の推移



資料：経済産業省「商業動態統計」

- 注：1) 百貨店及びスーパーマーケットは、飲食料品の販売額
2) コンビニエンスストアは、ファストフード、日配食品及び加工食品の販売額合計
3) 飲食料品小売業全体は、非食品の販売額を含む総販売額

平成27年度食料・農業・農村白書より

3. 消費税軽減税率は平成31年10月1日から

軽減税率制度の実施時期	平成31年10月1日（消費税率の引上げと同時）
消費税率等	標準税率は10%（消費税率7.8%、地方消費税率 ^(注) 2.2%） 軽減税率は8%（消費税率6.24%、地方消費税率 ^(注) 1.76%） （注）地方消費税の税率は、消費税額の78分の22
軽減税率の対象品目	① 酒類・外食を除く飲食料品 ② 週2回以上発行される新聞（定期購読契約に基づくもの）
帳簿及び請求書等の記載と保存	<ul style="list-style-type: none"> 対象品目の売上げ・仕入れがある事業者の方は、これまでの記載事項に税率ごとの区分を追加した請求書等の発行や記帳などの経理（区分経理）を行っていただくこととなります。 仕入税額控除の要件は、現行、「帳簿及び請求書等^(注1)の保存」ですが、軽減税率制度実施後は、こうした区分経理に対応した帳簿及び請求書等^(注2)の保存が要件となります（区分記載請求書等保存方式）。 <p>（注）1 「請求書等」には一定の領収書や納品書、レシート等も含まれます。 2 「区分記載請求書等」といいます。なお、平成35年10月からは「区分記載請求書等」に代わり、「適格請求書等」の保存が要件となります（適格請求書等保存方式）。</p>
税額の計算	<ul style="list-style-type: none"> 売上げ及び仕入れを税率ごとに区分して税額計算を行う必要があります。 区分経理が困難な中小事業者の方には、経過措置として売上げに係る税額（売上税額）又は仕入れに係る税額（仕入税額）の計算の特例があります。

4. 軽減税率の対象商品

1 軽減税率の対象となる品目

課税事業者・免税事業者の方

飲食料品

飲食料品とは、食品表示法に規定する食品（酒類を除く。）をいい、一定の一体資産を含みます。なお、外食やケータリング等は軽減税率の対象には含まれません。

詳細は次ページ

新聞

軽減税率の対象となる新聞とは、一定の題号を用い、政治、経済、社会、文化等に関する一般社会的事実を掲載する週2回以上発行されるもの（定期購読契約に基づくもの）。

5. 軽減税率の対象商品の境界

対象品目（酒類・外食を除く飲食料品）のイメージ



6. 納めの請求書は8%と10%を集計

期間	～31年9月30日	31年10月1～35年9月30日	35年10月1日～
名称	いまの請求書	区分記載請求書	適格請求書
記載事項	① 発行者の名前 ② 取引年月日 ③ 取引の内容 ④ 金額 ⑤ 受領者の名前	(左に追加) ① 8%対象品目であること ② 8%、10%ごとに合計税込金額	(左に追加) ① 発行者の登録番号 ② 税率、税率ごとの合計金額(税抜でも税込でもOK) ③ 消費税額
請求書と仕入税額控除の関係	① いまの請求書、帳簿の保存 ② 3万円未満・・・帳簿だけでいい ③ 小売業等は受領者の記載を省略できる。 ④ 免税事業者からの税額控除	① 区分記載請求書、帳簿の保存 ② 3万円未満・・・帳簿だけでいい ③ 小売業等は受領者の記載を省略できる。 ④ 免税事業者でも税額控除	① 適格請求書、帳簿の保存 ② 簡易適格請求書・・・小売業等は受領者の記載を省略できる。 ③ 3万円未満領収書不要要件がなくなる。 ④ 33年以降 帳簿の保存だけで仕入税額控除が認められるもの・・・電車、バス、飛行機、自販機、古物商などによる買取りなど領収書の受け取りが難しい場合だけ ⑤ 免税事業者からの税額控除が制限されます

7. 消費税税率10%時期変更

○ 消費税等の税率の10%への引上げ時期の変更に伴う軽減税率制度の改正点

		改正前	改正後
税率引上げ時期		平成29年4月1日	平成31年10月1日
軽減税率制度			
実施・導入時期		平成29年4月1日	平成31年10月1日
仕入税額控除の方式			
区分記載請求書等保存方式		平成29年4月1日～平成33年3月31日	平成31年10月1日～平成35年9月30日
適格請求書等保存方式		平成33年4月1日～	平成35年10月1日～
税額計算の特例の適用期間			
売上税額	中小事業者	4年 (平成29年4月～平成33年3月末)	4年 (平成31年10月～平成35年9月末)
	中小事業者以外	1年 (平成29年4月～平成30年3月末)	措置しない。
仕入税額	中小事業者	1年 (平成29年4月～平成30年3月末)	1年 (平成31年10月～平成32年9月末)
	中小事業者以外	1年 (平成29年4月～平成30年3月末)	措置しない。

8. 対応レジと受発注システムへの補助

複数税率対応として、2つの申請類型があります。

A型

複数税率対応レジの
導入等支援

複数税率に対応できるレジを新しく導入したり、対応できるように既存のレジを改修したりするときに使える補助金です。

※レジには、POS機能を有していないレジ、モバイルPOSレジシステム、POSレジシステムなどを含みます。

B型

受発注システムの
改修等支援

電子的な受発注システム（EDI/EOS等）を利用する事業者のうち、複数税率に対応するために必要となる機能について、改修・入替を行う場合に使える補助金です。

軽減税率対策補助金事務局 申請窓口

申請者専用回線

お問い合わせ

0570-081-222

9:00~17:00(土・日・祝除く)

複数税率対応レジの導入支援 A型

4タイプ

中小の小売事業者

3分の2

(3万円未満のレジ1台は3/4)

- ① 1台あたり20万円まで
- ② 商品マスターの設定や運搬費は別途1台あたり20万円。
- ③ 合計で200万円まで。

受注・発注システムの改修支援 B型

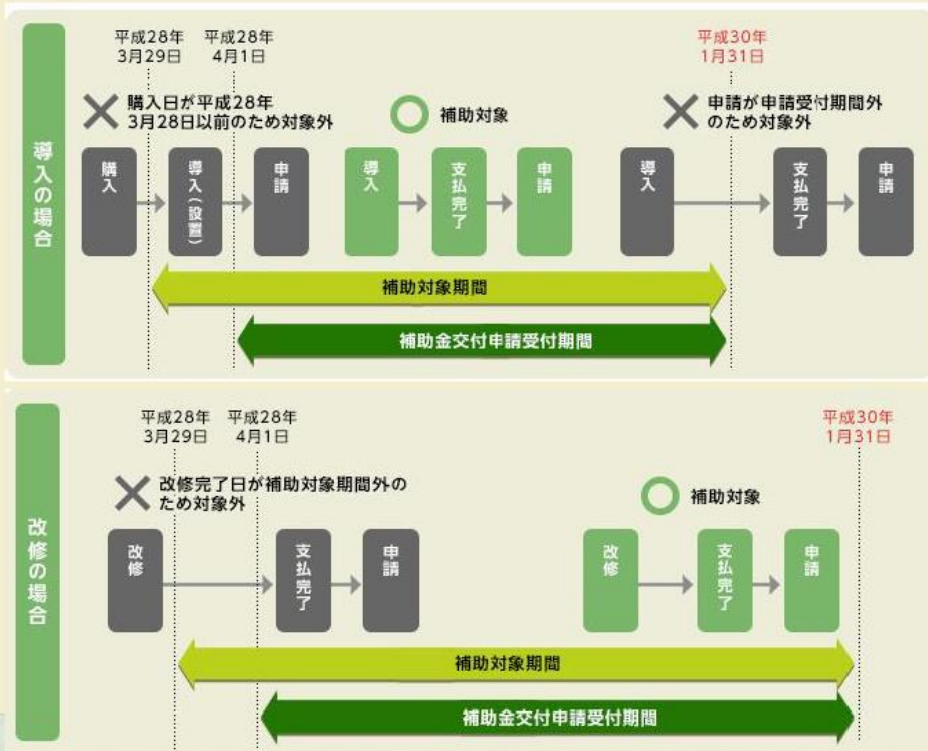
2タイプ

中小の小売事業者、卸売事業者

3分の2

- ① 小売事業者の発注システム1000万円
- ② 卸売事業者の受注システム 150万円

9. 補助金の申請期間



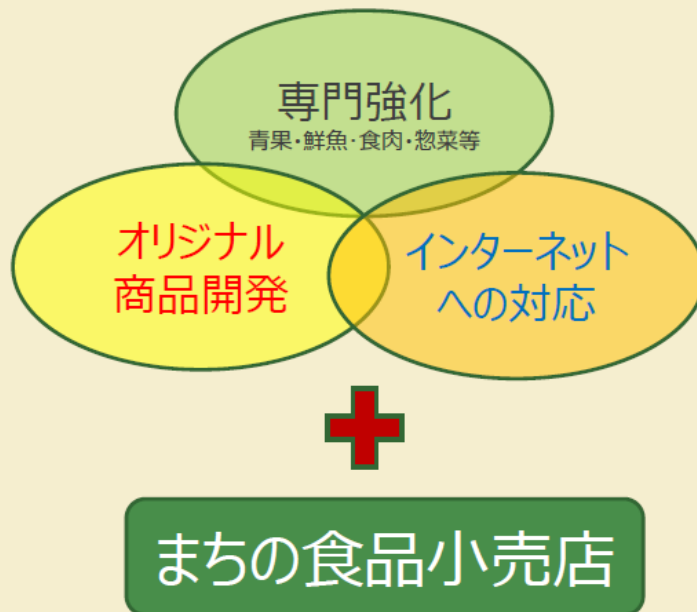
10. 複数税率対応のレジ導入支援

<p>軽減税率制度に対応するためにレジを導入したい。</p>  <p>A-1型 レジ・導入型</p> <p>複数税率対応の機能を有するPOS機能のないレジを対象銘柄とし、その導入費用を補助対象とします。</p> <p>申請書のダウンロードガイド</p>	<p>使い慣れたレジを活かしたい。</p>  <p>A-2型 レジ・改修型</p> <p>複数税率対応のレジを、対応レジに改修する場合の費用を補助対象とします。</p> <p>申請書のダウンロードガイド</p>	<p>タブレット端末のPOSレジシステムを入れたい。</p>  <p>A-3型 モバイルPOSレジシステム</p> <p>複数税率に対応したレジ機能サービスをタブレット、PC、スマートフォンに活用できると付属機器を組み合わせて、レジとして利用する場合の導入費用を補助対象とします。</p> <p>申請書のダウンロードガイド</p>	<p>POSレジシステムを新たに入れたい。</p> <p>今あるPOSレジシステムを改修したい。</p>  <p>A-4型 POSレジシステム</p> <p>POSレジシステムを複数税率に対応するように改修または導入する場合の費用を補助対象とします。</p> <p>申請書のダウンロードガイド</p>
--	---	--	--

11. 受発注システム改修支援

<p>受発注システムを改修したい。</p>  <p>B-1型 受発注システム・指定事業者改修型</p> <p>システムベンダー等に発注して、受発注システムを改修・入替する場合の費用を補助対象とします。</p> <p>申請書ダウンロード</p>	<p>受発注システムのパッケージを自分で導入したい。</p>  <p>B-2型 受発注システム・自己導入型</p> <p>中小企業・小規模事業者等が自らパッケージ製品・サービスを購入し導入して受発注システムを改修・入替する場合の費用を補助対象とします。</p> <p>申請書ダウンロード</p>
---	--

1 2. 2年後を目処に新たな業態づくり



1 3. 新業態は3つの流れ

☆**専門強化** ⇒ 若い人に専門店の味を伝える
青果・鮮魚・精肉・惣菜等の本当の選び方や保存方法を伝承
・旬の生鮮食品の選び方や食べ方や保存方法
・全国の食品を目利きして品揃え

☆**オリジナル商品開発** ⇒ わざわざ買いに来たくなる商品づくり
チョット違うオリジナル商品でお客様が自慢するお店づくり
・お漬物や惣菜やお菓子等を自家製造
・買取覚悟でチョット違う商品をオリジナル開拓

☆**インターネットへの対応** ⇒ お客様がPRしてくれる環境づくり
お客様がネットコミでPRしてくれれば易くて最も高い販促効果
・インバウンド客も期待できるw i f i 環境
・写してもらう商品やディスプレイづくり

1 4 . 若い人に専門店のメリットを伝える工夫

×入り難いお店 → ○見るだけで楽しいお店

- ★商品がお客様に語りかける商品説明POP
- ★「本日○○○入荷！！」の入ってみたいくなる店頭POP
- ★一つのアイテムでも選ぶことができる品揃え
- ★旬の生鮮品の選び方をパンフで配布
- ★旬の生鮮品の保存方法をパンフで配布
- ★日にちを経た商品の美味しい食べ方伝受
- ★産地や生産者のことをお客様にお知らせ
- ★調理や加工しているところを見せることが客寄せと販促



1 5 . オリジナル商品で新たなファンづくり

×仕入商品だけ → ○他では買えない商品開発

- ★仕入商品でも近隣では当店でしか扱っていない商品づくり
- ★仕入商品にチョット手を加えてオリジナル商品もどき（詰め替え等）
- ★旅行しながら全国の珍しい商品探索（ワラビから作ったわらび餅）
- ★気の合う生産者の商品を季節限定販売（季節の加工品）
- ★当店独自のレシピ（仕様）をつかって生産委託（買取）
- ★店舗併設の加工場で作る自家製商品
- ★見せる調理・加工で販促強化
- ★「今月の新製品」毎月発表して来店客数アップ



16. インターネットを活用して効果的 P R

×折り込みチラシ → ○SNSでお客様が P R

- ★フェイスブック（F B）・line・twitter開設
- ★お客様の興味をひく商品 P O P
- ★お客様が面白いネーミング（ばかやろうカレー）
- ★写真写りがいい盛り付けや飾り付け
- ★店主自らも店舗情報発信
- ★さくらの F B 客を大歓迎！
- ★店内に無料の w i f i 環境設置
- ★調理・加工しているところをyoutubeに投稿



オリジナル商品
は生き残りに
不可欠！！

新業態で
地域住民が
自慢してくれる
食品小売店に
挑戦！！

4.1.2 その他の配布資料（参考資料）

- ① 消費税軽減税率対応について（食流機構作成資料）
- ② 消費税軽減税率対策補助金に関するQ & A（食流機構作成資料）
- ③ 消費税の軽減税率制度が実施されます（国税庁）
- ④ 消費税軽減税率（案）への対応について（中小企業庁）
- ⑤ 軽減税率対策補助金（軽減税率対策補助金事務局）
- ⑥ 食品表示法 説明資料（消費者庁）

4.2 アンケート結果

4.2.1 仙台会場 (7/15)

質問事項	集計結果
1. 講演内容について	
a. 参考になった	20 <ul style="list-style-type: none"> ・まだ先だと思っていたので、本日の説明を聞いて、イメージがつかめて大変良かった。(卸・仲卸) ・後半のシステム会社の説明も消費税軽減税率制度にあててほしかった。(卸・仲卸) ・定期的な開催を希望。(システム会社) ・分かり易かった。(卸・仲卸)
b. ふつう	22 <ul style="list-style-type: none"> ・軽減税率についてもっと触れてほしかった。(小売業) ・まだ未決定な点があるかもしれないが、軽減税率に関する話をもっと聞きたかった。請求書、レシートの具体的な対応例、対応後の具体的なサンプル帳票など。新税率になった場合の具体的な注意点など(特に10月になってからの9月の返品など)。前半の経済や最後の新業態の話は不要。(システム会社) ・参考になったが、もう少しゆっくり話してもらえるとよかった(時間がないのではないが)。市場としても具体的な留意点を話してほしかった。(卸・仲卸) ・請求書書式、考え方が参考になった。(卸・仲卸) ・後半部の軽減税率導入に向けた経営手法の話は、当方の中間流通にはそぐわないと感じた。(卸・仲卸)
c. 参考にならなかった	2 <ul style="list-style-type: none"> ・この先の仕事に少なからず影響することが実感できた。(卸・仲卸) ・補助金制度にタイプが色々あると知ることができた。(卸・仲卸) ・今後、理解を深めたい。(卸・仲卸) ・どちらかというと小売店向けの話がメインだったように感じたので、卸売業者向けの話が聞きたかった。(卸・仲卸)
d. その他	1 <ul style="list-style-type: none"> ・食品を入れて販売するための資材は10%のままよいか。食品が8%なのは有り難いが、現場では手計算なので、税率が違うのは大変。(卸・仲卸) ・まだ決定されていない事項があるので、注目して、こちらも対応が必要だと感じた。(卸・仲卸) ・中小企業には事務負担が大き過ぎる。導入を機に廃業する方も多い見込みである。別途、店頭での表示は外税表示に統一してほしい。(業界団体) ・制度に関しては理解できるが、システム導入に当たっては社内の勉強会が必要で、正直面倒な制度。(卸・仲卸) ・2種類の消費税について、目的を明確にできないと振り分けが難しい。(卸・仲卸) ・8%以上がってから消費税を払うのがキツイ。予定消費税納税が9月に来るので、4月に払ったと思っても、預金が貯まらないうちに9月払い(マイナス)になることもある。(小売業) ・導入にはそもそも大反対。(卸・仲卸) ・制度そのものが不要だと思う。導入に伴うコストと混乱を考えると無駄な制度ではないか。(卸・仲卸) ・まだ詳細が決まっていないと思うが、早く詳細を知りたい。(システム会社) ・面倒なので必要と思う。(小売業) ・2年くらい延びたので安心してた。(卸・仲卸) ・我々、水産物卸業は、取扱商品は軽減税率が適用されるので、難しい問題はないと思う。(卸・仲卸) ・反対。境界線が曖昧で、現場が混乱する。費用を掛けて、機器・システムの変更をしなければならぬ。税率は一本化するべき。(卸・仲卸) ・手間が掛かるだけなので、個人的には全て10%にしてほしい。食品業としては運送費や間接費用は全て10%で支払うことになるが、値上げがしにくいのではと心配。消費者心理としては「軽減税率対象の商品がなんで値上げ？」となるのではないか。(システム会社) ・食料品の8%と10%の区分が難しい。区分の理由、判断の根拠が不明確。理解できるような説明がほしい。(卸・仲卸) ・ALL10%でも構わないと思っている。(卸・仲卸) ・本制度の導入目的として、低所得者保護をうたっているが、所得税還付や給付金での対応が望ましい。この制度は中間流通業者の負担が大き過ぎる。(卸・仲卸) ・軽減税率の適用範囲が複雑過ぎる。今のままでは失敗すると思っている。(卸・仲卸) ・軽減税率対象品目が難しい。(卸・仲卸)
2. 消費税軽減税率制度について	
a. 知っていた・利用したい	10
b. 知らなかった・利用したい	8
c. 知っていた・利用する予定はない	15
d. 知らなかった・利用する予定はない	12
3. 消費税軽減税率対策補助金について	
4. これから導入したいシステム・機器類	<ul style="list-style-type: none"> ・自社に確認する。(卸・仲卸) ・請求書・販売管理の自動システム(現在のシステムの転用):水産物卸組合の共同化になると思う。(卸・仲卸) ・レジ屋さんが来て、説明してもらい、レジを導入した。
6. 記入者	
a. 生産者・出荷団体	
b. 卸・仲卸業	33
c. 小売業	2
d. 業界団体	3
e. 官公庁	2
f. システム会社	5
g. その他	

n=45

4.2.2 札幌会場 (7/29)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	25	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業の説明が主になっていたため、軽減税率の内容をもっと聞きたかった。(システム会社) ・資料が多過ぎる。資料の目次に頁数の記載がなく分かりづらい。(卸・仲卸) ・必要な内容をもっと集約して説明してほしい。重要なところをピックアップしてほしい。(生産者・出荷団体) 	
b. ふつう	18	<ul style="list-style-type: none"> ・一部でプロジェクターと手元資料がイコールでない部分があった。プロジェクターのみで説明されると、内容の理解が追い付かず集中できない。(卸・仲卸) ・特に「新業態」が参考になった。(卸・仲卸) 	
c. 参考にならなかった			
d. その他	2		
2. 消費税軽減税率制度について			
		<ul style="list-style-type: none"> ・酒類・食品卸の会社ももっと軽減税率制度のマイナス面の影響を受けるとされる。反対したが、導入が確定となって苦慮している。取り敢えず延期となったので、若干の余裕ができたというのが実感。(卸・仲卸) ・止めたほうがよい。(卸・仲卸) ・今後の具体的な内容に注視したい。(その他) ・テイクアウトが増えるので、店に賑わいがなくなるのではないか。(官公庁) ・軽減税率制度は更に変更があると思う。(システム会社) ・社会保障や税制等、国のやり方は非常に分かりづらい。(システム会社) ・基準にあいまいなところがある。例外設定は問題があると思う。(生産者・出荷団体) ・受発注システムの改修を考えなければならない。(卸・仲卸) ・10%の段階では不要。(官公庁)(卸・仲卸) ・導入時期・制度の内容・対象などがまだよくわからない。(官公庁) ・手間が掛かりすぎる。(卸・仲卸) ・抜け道はたくさんありそうで、まだ不透明。(卸・仲卸) ・もう少し消費者の購買意欲が活発になってからでも(増税は)良いのではないか。(業界団体) ・軽減税率は反対。手間の割に減税効果が少ない。(卸・仲卸) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	9		
b. 知らなかった・利用したい	9		
c. 知っていた・利用する予定はない	9		
d. 知らなかった・利用する予定はない	18		
4. これから導入したいシステム・機器類		<ul style="list-style-type: none"> ・受発注システム(小売業) ・店のレジ(小売業) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体	3	・市場内の情報担当部門	
b. 卸・仲卸業	19		
c. 小売業	2		
d. 業界団体	4		
e. 官公庁	6		
f. システム会社	9		
g. その他	2		

n=45

4.2.3 新潟会場 (8/23)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	17	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も説明会をしてほしい。1回だけでは理解できない。(業界団体) ・身近な例を取り上げ、できるだけ簡単な言葉で説明していただいたが、限られた時間とその内容の複雑さ、深さのため説明も早く感じられ、受け手としては3分の1理解できた程度だが、参考にはなりました。(卸・仲卸) ・若い方の集客等、色々なヒントがもらえて良かった。(卸・仲卸) ・参考になったが、資料が多く難しく感じた。(卸・仲卸) ・説明の内容、話のスピードが分かり易かった。(業界団体) 	
b. ふつう	4		
c. 参考にならなかった			
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について			
		<ul style="list-style-type: none"> ・対応が面倒。(卸・仲卸) ・スムーズに制度が運用できるのか疑問。また延期になるのではない。(卸・仲卸) ・2年先の話ではあるが、今から準備が必要でのおんびりしてられない。(卸・仲卸) ・もう少し分かり易い制度があったのではないと思う。(その他) ・わかりにくい。(卸・仲卸) ・延長されて考え直す時間は長くなったが、いつかは対応が必要なので直ぐに考えなければと思う。(その他) ・中小小売店の対応が難しい。(その他) ・軽減税率制度は非常に大変で、悪い制度だと思う。(業界団体) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい			
b. 知らなかった・利用したい	8		
c. 知っていた・利用する予定はない	2		
d. 知らなかった・利用する予定はない	11		
4. これから導入したいシステム・機器類			
		<ul style="list-style-type: none"> ・レジスター(生産者・出荷団体) ・現時点ではまだハッキリした部分は決まっていない。(小売業) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体	1	※その他は「業種」無記入者	
b. 卸・仲卸業	11		
c. 小売業	1		
d. 業界団体	2		
e. 官公庁	2		
f. システム会社			
g. その他	4		

n=21

4.2.4 金沢会場 (8/30)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	14	<ul style="list-style-type: none"> ・とても分かり易い説明で参考になった。(卸・仲卸) ・分かり易い説明でとても参考になった。(卸・仲卸) ・消費税の話だけでなく、今後の市場の在り方などの説明が面白かった。(卸・仲卸) ・消費税軽減税率について大変良く分かった。(システム会社) ・大変参考になった。請求書の表示などについても気になっていたので、今回の講演で話が聞けてよかった。(卸・仲卸) ・軽減税率の対象商品の細かい区分や対策への補助金、請求書の様式変更等、とても参考になる講演だった。(卸・仲卸) 	
b. ふつう	4		
c. 参考にならなかった			
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について			
		<ul style="list-style-type: none"> ・不透明感からくる不安が強い。(卸・仲卸) ・かなり複雑な制度だと思う。(その他) ・システム改修のコストが莫大なので、助成制度を拡充してほしい。(小売業) ・消費税軽減税率など導入せず一律の税率にして、還付金で対応すれば問題が少ない。(卸・仲卸) ・税率を軽減なしで一本化してほしい。(卸・仲卸) ・システム改修が必要となり、これからの対応が不安。(卸・仲卸) ・請求書の様式変更に関して、事業者番号の掲載まで義務付けられるのは余計な改定だと感じた。(卸・仲卸) ・請求書の発行に手が掛かりそう。(卸・仲卸) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	3		
b. 知らなかった・利用したい	7		
c. 知っていた・利用する予定はない	4		
d. 知らなかった・利用する予定はない	4		
4. これから導入したいシステム・機器類			
		<ul style="list-style-type: none"> ・販売システム。(卸・仲卸) ・POSレジ・受発注システム。(卸・仲卸) ・取引における会計システムの新規導入。(卸・仲卸) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体	1		
b. 卸・仲卸業	12		
c. 小売業	1		
d. 業界団体			
e. 官公庁	1		
f. システム会社	1		
g. その他	2		

n=18

4.2.5 静岡会場 (9/12)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	10	<ul style="list-style-type: none"> ・この制度の概要は理解できた。ただし、消費税全体の仕組みも知りたかった。(官公庁) ・消費税軽減税率の説明は初めて聞いたので、現実味が湧いてきた。消費増税の1年前くらいにもう1度このような説明会があればよいと思う。(卸・仲卸) ・話の進め方が良かった。もう少し専門的な話をしてほしいかった。(その他) ・軽減税率の対象品目が具体的に分からず、イメージがわからなかったが、マクドナルドを例とした説明が分かり易かった。また、「国税庁Q&A」を紹介してもらったので、あとで確認したい。(官公庁) 	
b. ふつう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な仕組みを分かり易く、また、どのようなマインドで取り組めばよいのかが興味深く、参考になった。(その他) ・延長になったと思っていたので、参考になった。(卸・仲卸) 	
c. 参考にならなかった			
d. その他	1		
2. 消費税軽減税率制度について		<ul style="list-style-type: none"> ・対象品目になるかどうかの線引きが難しい。課題が多いと感じた。制度自体は有り難いと思うが、これを機に商売をやめてしまう小売店が多数出てくるのではないかと懸念する。(官公庁) ・対象品目をいかに消費者に分かり易く伝えられるかが問題だと思う。(卸・仲卸) ・地方まで対応できるとは到底思えず、規模が小さい事業者が悩まされるように感じた。(その他) ・対応が面倒なのが本心。(卸・仲卸) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	3		
b. 知らなかった・利用したい	1		
c. 知っていた・利用する予定はない	4		
d. 知らなかった・利用する予定はない	5		
4. これから導入したいシステム・機器類		<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルのシステムがあるので、それが利用できるか知りたい。(卸・仲卸) ・B型(1,000万円補助)を利用予定。(業界団体) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体		※その他は1名が「業種」無記入者、2名が「ニュースサイト」運営者	
b. 卸・仲卸業	2		
c. 小売業			
d. 業界団体	4		
e. 官公庁	4		
f. システム会社			
g. その他	3		

n=13

4.2.6 名古屋会場 (9/16)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	22	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい情報はなかった。(卸・仲卸) ・制度そのものについても分かり易かったが、それに対応するためにどうしていくべきか、という点も話してもらえて良かった。(その他) ・導入までに期間があるので(説明会の)参加状況は大丈夫か。(官公庁) ・佐藤先生の講演の中で、今後2年間で新たな業態を作るための3つの提案が非常に参考になった。(卸・仲卸) 	
b. ふつう	9	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業をはじめ、ネットやSNSなど今のトレンドを含めたビジネス提案のヒントの類はとても興味深かった。今後、国会や市場の流れを踏まえて、どのように変わっていくのか？状況変化を捉えることが必要と実感。自分でも情報収集していたが、本日のような説明会は、知らないことはもちろん、知っていることも整理して理解を深めることができた。(システム会社) 	
c. 参考にならなかった	1		
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について			
		<ul style="list-style-type: none"> ・商品により線引きが難しいため、スタッフによる説明指導が重要になる。(システム会社) ・なくなってほしい。(卸・仲卸) ・今後どうなるか(更なる延期?)分からない中で、とりあえずこういう制度なのか程度の認識で今はよいと思う。(卸・仲卸) ・非常に分かりにくい(その他)。 ・軽減税率にすると楽になったように感じるが、システム変更の大変さを思うと本当に対応できるのかと思う。(その他) ・対象品目の線引きが難しい。消費税が複数になるので混乱する恐れがある。(卸・仲卸) ・10%に統一したほうが良い。(小売業) ・複雑な対応が発生しそう。川上(仕入れ元)が零細企業もしくは個人商店も少なくないので、書面(請求書)のやりとりが混乱しそう。(卸・仲卸) ・グレーゾーンがどうなるか不明だが、分かり易い区分をお願いしたい。(卸・仲卸) ・飲食店のオーナーがPOSを導入すれば補助金がでると思っている。外食しか提供していない店では対象外にならないのか。(システム会社) ・思っていたよりも、設備や社内のルールをしっかりと準備しないとイケないと思った。(卸・仲卸) ・まだまだ不透明な事項が多くあるが、なにより増税は絶対なので、利用に向けて理解と実用に向けて準備したい。(卸・仲卸) ・大変良い制度であると思うが、申請の方法が分かりにくく難しいので、もっと分かり易い仕組みにしてほしい。(システム会社) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	5	<ul style="list-style-type: none"> ・複数税率対応レジの導入。(卸・仲卸) 	
b. 知らなかった・利用したい	3		
c. 知っていた・利用する予定はない	15		
d. 知らなかった・利用する予定はない	8		
4. これから導入したいシステム・機器類			
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体		※その他は「業種」無記入者	
b. 卸・仲卸業	19		
c. 小売業	1		
d. 業界団体	2		
e. 官公庁	3		
f. システム会社	4		
g. その他	2		

n=31

4.2.7 広島会場 (10/6)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	18	<ul style="list-style-type: none"> ・課税事業者登録制度を教えてもらえて良かった。インターネット活用法の話が参考になった。(小売業) ・軽減税率という言葉は知っていたが、さらに知識を深めることが少してきた。(官公庁) ・面倒臭い制度だが、いろいろ考え良い発想を生み、今後の発展に活かしたい。(卸・仲卸) 	
b. ふつう	5		
c. 参考にならなかった	1		
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について		<ul style="list-style-type: none"> ・機器・システムの新規、改修だけでなく、他に発生する費用についても補助を考えてもらいたい。(小売業) ・こんなに複雑で手間のかかる納税作業を、手数料も払わずに事業者に行わせる制度は、正直いって懐かしい。導入時に補助金を出すというが、その原資は税金ではないか。(小売業) ・複雑だが必要な制度。(官公庁) ・ややこしいが、大事なこと。(卸・仲卸) ・かなり面倒だが、違反のないように、追徴課税されないように調べていきたい。(卸・仲卸) ・再考の余地あり。(卸・仲卸) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	7		
b. 知らなかった・利用したい	2		
c. 知っていた・利用する予定はない	7		
d. 知らなかった・利用する予定はない	8		
4. これから導入したいシステム・機器類		・POS端末。(小売業)	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体			
b. 卸・仲卸業	11		
c. 小売業	6		
d. 業界団体	2		
e. 官公庁	4		
f. システム会社	1		
g. その他			

n=24

4.2.8 岡山会場 (10/7)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	8	<ul style="list-style-type: none"> ・商品紹介は不要かと思う。(卸・仲卸) ・参考になったが、青果業として仕入れたものをそのまま売る小売店で、オリジナル商品の開発などが難しい参加者が殆どだったと思うので、生き残るための工夫の話し、軽減税率の説明や補助金の説明をもっと詳しくしたほうが良かった。(小売業) ・知らないことが多かった。説明が面白かった。もっと人集めて、このように変わること理解させる必要がある。(卸・仲卸) ・今後のスケジュールがイメージできた。(官公庁) 	
b. ふつう	8		
c. 参考にならなかった	1		
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について		<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮品については無税にすべき。(卸・仲卸) ・軽減税率は止めて、一律10%にしたほうがよい。(卸・仲卸) ・消費者の立場からすると、軽減税率は一見ありがたく感じるが、対象が食料品のみで差も2%のみなので、中小企業として、システム等の変更の面倒臭さのほうが勝る。(小売業) ・大変複雑だが、理解させればスムーズに動くかもしれない。(卸・仲卸) ・対象品目の早期確定が必要。(官公庁) ・大混乱が予想される。(官公庁) ・思っていた以上に複雑な内容で、スケジュールも流動的な部分があり、混乱しないためにパンフレット作成等での周知が好ましい。(その他) ・無駄な費用と時間が掛かり過ぎるし、対象区分が分かりづらいので、正直反対である。(小売業) ・不満。(卸・仲卸) ・とても分かりにくい。(官公庁) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	3		
b. 知らなかった・利用したい	9		
c. 知っていた・利用する予定はない			
d. 知らなかった・利用する予定はない	5		
4. これから導入したいシステム・機器類		<ul style="list-style-type: none"> ・レジ・要発注システム。(小売業) ・軽減税率対応の請求書等発行システム。(卸・仲卸) ・専門業者に任せたい。(卸・仲卸) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体	1	※その他は「業種」無記入者	
b. 卸・仲卸業	8		
c. 小売業	2		
d. 業界団体			
e. 官公庁	3		
f. システム会社			
g. その他	3		

n=17

4.2.9 福岡会場 (11/18)

質問事項	集計結果	
1. 講演内容について		
a. 参考になった	11	・説明のやり方が分かり易く、他へ説明する際の参考になった。(官公庁) ・卸売市場の卸売事業者は産地から委託されて、それをセリにかけて物を売るが、本来の売主は産地出荷者である。セリ落として買った業者に対する請求書は産地出荷者が対応しなければならないと思われる。そのあたりをどうすれば良いか聞きたかった。(卸・仲卸)
b. ふつう	6	
c. 参考にならなかった	1	・販売の提案より、もう少し税制度について詳しく聞きたかった。(卸・仲卸)
d. その他		・補助金の対象・条件について参考になった。(卸・仲卸)
2. 消費税軽減税率制度について		・実際に導入するのか。いつからを明確にしてほしい。(卸・仲卸) ・対応のスケジュールをどのように考えていくかが難しいと思った。(卸・仲卸) ・こんな時に何を説明するのか疑問があったが、確かに閣議決定だけで何も決まっていなことに気付かされた。(官公庁) ・卸売市場の卸売業者としては止めてもらいたいと考えている。(卸・仲卸) ・正直言って分かりにくい。(卸・仲卸)
3. 消費税軽減税率対策補助金について		
a. 知っていた・利用したい	2	・知ってはいるが、まだ請求システムを構築していないので、対応するかどうか分からない。(卸・仲卸)
b. 知らなかった・利用したい	2	
c. 知っていた・利用する予定はない	3	
d. 知らなかった・利用する予定はない	8	
4. これから導入したいシステム・機器類		・取引先に情報の提供をしたいと思った。(卸・仲卸) ・仕入・販売システム(受発注システムとは少し違うので補助対象となるか不明)。(卸・仲卸) ・自社システムベンダーに改修を依頼する可能性あり。(卸・仲卸) ・組合員に情報を提供したい。(業界団体)
6. 記入者		
a. 生産者・出荷団体		※その他は「業種」無記入者
b. 卸・仲卸業	13	
c. 小売業		
d. 業界団体	1	
e. 官公庁	3	
f. システム会社		
g. その他	1	

n=18

4.2.10 鹿児島会場 (11/28)

質問事項		集計結果
1. 講演内容について		
a. 参考になった	21	・見えていない所が見えて分かり易かった。(官公庁) ・佐藤先生の講演は大変分かり易く、勉強になった。(卸・仲卸)
b. ふつう	2	・初めてで参考になった。(卸・仲卸)
c. 参考にならなかった		・今から青果小売業の減少をなくすため、また生き残るための行動を考えていくべきだと教えられた。コンビニ、スーパーとの差別化、個人個人を大切にしてお客の利点を大切にしたい。(小売業)
d. その他		・軽減税率の境界を分かり易く説明してもらって勉強になった。(システム会社)
2. 消費税軽減税率制度について		
		・区分の仕方が複数あって難しいので、統一すべきだと思うが。(官公庁) ・また延期しないかどうか不安。(卸・仲卸) ・対策、改修が大変でこれから検討が必要。(卸・仲卸) ・期間が延びたとはいいなくても確実に2年後は対応しなくてはならず、準備が必要だと実感した。(卸・仲卸) ・対象品目などの区別が複雑で、制度導入後に混乱が起こりそうな気がする。(システム会社) ・1回ではなく何回か聞かないとマスターできない。(卸・仲卸) ・もう少し理解し易いシステムにしてほしい。(小売業) ・複雑過ぎて混乱すると思う。(卸・仲卸)
3. 消費税軽減税率対策補助金について		
a. 知っていた・利用したい	6	
b. 知らなかった・利用したい	1	
c. 知っていた・利用する予定はない	8	
d. 知らなかった・利用する予定はない	8	
4. これから導入したいシステム・機器類		
6. 記入者		
a. 生産者・出荷団体		
b. 卸・仲卸業	14	
c. 小売業	2	
d. 業界団体	1	
e. 官公庁	3	
f. システム会社	3	
g. その他		

n=23

4.2.11 宇都宮会場 (12/2)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	10	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階で教えてもらい大変勉強になった。(官公庁) ・増税が延期となる前はマスコミ等でよく目にしており関心があったところだが、延期が決まってからは、正直あまり気にしていなかった。しかし、延期されただけで平成31年10月からは実施されるので、今回の話は大変参考になった。(官公庁) ・2年後を目途に新たな業態づくりが特に参考になった。軽減税率については新聞情報しか知らなかったもので、とても良く理解できた。(官公庁) 	
b. ふつう	2		
c. 参考にならなかった			
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について		<ul style="list-style-type: none"> ・非常に厄介だと思う。(卸・仲卸) ・加工品や生食など品目毎の消費税区分の勉強が大変。(卸・仲卸) ・業務が複雑になり対応をどうするか困っている。(卸・仲卸) ・大企業に補助金が出ないのは少し納得がいかない。資本金だけで大企業・中小企業を判断するのはおかしい。うちも補助金でレジ・POS等を導入したかった。(卸・仲卸) ・対象品が具体化されないと、社内のどの業務(システム)をどのように見直すのか、積極的に動けない。(卸・仲卸) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい			
b. 知らなかった・利用したい	3		
c. 知っていた・利用する予定はない	2		
d. 知らなかった・利用する予定はない	7		
4. これから導入したいシステム・機器類			
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体			
b. 卸・仲卸業	6		
c. 小売業			
d. 業界団体			
e. 官公庁	6		
f. システム会社			
g. その他			

n=12

4.2.12 東京会場 (12/8)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	31	<ul style="list-style-type: none"> ・参照資料と説明の区分が分かりずらかった。(その他) ・軽減税率の説明はあまり参考にならなかったが、小売店対応の説明は大変興味深く参考になった。(業界団体) ・資料の数が多く、行ったり来たりして少し分かりずらかった。参照資料に資料番号を付けるとよいのではないか。(その他) 	
b. ふつう	8	<ul style="list-style-type: none"> ・資料のどの部分(何ページか)を説明されているのかが分かりずらかった。(卸・仲卸) ・軽減税率導入の時期が明確に分かった。(卸・仲卸) ・中小企業の食品流通に関する話題が広がり有意義だった。(その他) ・制度が複雑なので資料で説明してもらえて良かった。軽減税率の他、SNSの活用などについての話も勉強になった。(その他) 	
c. 参考にならなかった	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の見通しを立てる上で、とても参考になった。(業界団体) ・知識が少なかつたため非常に参考になった。(卸・仲卸) ・このような機会があると、より理解が深まる。(業界団体) 	
d. その他		<ul style="list-style-type: none"> ・消費者側にとって、今後どのような消費税になり、我々の生活に影響が出るのか、図やグラフで分かり易く説明してもらえて良かった。(金融) 	
2. 消費税軽減税率制度について			
		<ul style="list-style-type: none"> ・複数税率導入で経理処理等に手間が掛かり、メリットが分からない。(業界団体) ・対象商品の見極めが難しい。(卸・仲卸) ・財務省等から公開されている情報は曖昧な点が多く、システム対応等が定められない。(卸・仲卸) ・複雑でややこしいイメージがある。(業界団体) ・消費者側もそうだが、小売店舗や卸売業の税制対応が大変と感じた。負担軽減になるようなシステム導入が必要と思う。(金融) ・適格請求者等保存方式で、請求書に単品が書かれた例があるが、EtoBの請求書でこのようなものを見たことがない。通常は伝票Noの一覧で請求しているはず。各伝票No毎に単品は分かるようになっていて、全部をそのように書くのがボール1箱では足りない量の請求書を送らないといけなくなる。本当に現実的か疑問。レシートなら分かるが・・・。(業界団体) ・制度が曖昧なので、早く税率を統一すべき(10%⇒15、18%へ)。(その他) ・外食産業にビジネスチャンスがありそう。(その他) ・軽減税率対象商品をどの様に商品マスタに反映させるのか。「区分記載請求書」と「適格請求書」を正しく理解して運用できるか疑問。(卸・仲卸) ・システム改修の投資が大き過ぎる。卸として小売毎のシステム対応が大変。EDI取引の対応がまだ決まっていない部分がある。正しくマスター設定されないと連算になり管理が大変。(卸・仲卸) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	4		
b. 知らなかった・利用したい	5		
c. 知っていた・利用する予定はない	13		
d. 知らなかった・利用する予定はない	19		
4. これから導入したいシステム・機器類			
		<ul style="list-style-type: none"> ・複数税率対応レジと受発注システム(小売業) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体	1		
b. 卸・仲卸業	9		
c. 小売業	2		
d. 業界団体	10		
e. 官公庁			
f. システム会社	6		
g. その他	13		

n=41

4.2.13 高松会場 (1/13)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	23	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が分かり易かった。(生産者) ・軽減税率対象の例が分かり易かった。(システム会社) ・説明がとても分かり易かった。(官公庁) 	
b. ふつう	4		
c. 参考にならなかった			
d. その他	1		
2. 消費税軽減税率制度について		<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ新聞が軽減税率の対象なのか？不透明な部分が多い。(業界団体) ・対応するのに労力が必要。(生産者) ・消費者の立場では賛成だが、対応する立場となると面倒であり疑問も残る。(卸・仲卸) ・消費税のルールが「複雑」になり、理解できる人が限られるのではないか。(卸・仲卸) ・なかなか難しいので今から更に勉強が必要。(卸・仲卸) ・もう少し簡単な仕組みにできないものか。(卸・仲卸) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	2		
b. 知らなかった・利用したい	4		
c. 知っていた・利用する予定はない	12		
d. 知らなかった・利用する予定はない	10		
4. これから導入したいシステム・機器類		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ十分に分からない。(卸・仲卸) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体	1	※その他は「業種」無記入者	
b. 卸・仲卸業	9		
c. 小売業	5		
d. 業界団体	2		
e. 官公庁	7		
f. システム会社	3		
g. その他	1		

n=28

4.2.14 長野会場 (1/19)

質問事項	集計結果	
1. 講演内容について		
a. 参考になった	12	・説明資料と配布資料の整合性を欠き、分かりづらい。講師は販売者と消費者の何れの立場でもないような説明だった。この際、説明の相手方を明確に事業者サイドにして、制度設計者からの説明としてはどうか。(官公庁) ・とても分かり易い説明で、8%と10%の違いが大体分かった。卸や小売は5年の間に色々準備しなければならないことが多く大変だと思う。家計にすぐ響くものなので、今回参加できてよかった。(官公庁)
b. ふつう	4	・大変分かり易いので、もっと多くの場所で行ったらよい。(小売業) ・消費税軽減税率制度に関する理解が深まった。(卸・仲卸)
c. 参考にならなかった		・残り1年半に迫った消費税率10%引き上げまでのスケジュール感がつかめてよかった。税金計算や補助金の申請方法等をもっと詳しく説明してほしいかった。(その他) ・佐藤先生の話しがうまく、大変分かり易かった。(その他) ・部分的に新しい情報が聞けてよかったが、システム面での対応方法も聞き買った。(卸・仲卸)
d. その他		
2. 消費税軽減税率制度について		・日本では目前になってから騒ぎになったり混乱することが多い。本制度は、消費者に販売提供する者に大きな負担となり、消費者とのトラブルの発生も予想される。この問題点や課題を知らない当事者が多いと考えられるので、大々的なアピールが必要だと思う。(官公庁) ・商品・サービス価格の値上げにつながると思われるが、競争各店の状況がつかみにくい。(小売業) ・どうして難しい制度が導入されるのか疑問。(卸・仲卸) ・みりんの例等、わかり難い境界の問題があり、これからの導入に不安を感じた。(官公庁) ・飲食品は多岐にわたり複雑なものも多いので、消費税10%と8%を見極めて買わなければならないかもしれない。外食は減ってくるのではないかという危惧もある。(官公庁) ・商品によって、または売り方によって軽減税率対象が否かが分かれるケースが多数あり、複雑な仕組みなので、システムと運用の徹底が必要。(卸・仲卸) ・8%の軽減税率制度は混乱するため、上げるのなら全て10%にすべき。(その他) ・すでに引上げの準備が進んでいるが反対である。すべて10%にして、後で(低所得者などに)還元すればよいと思う。(その他)
3. 消費税軽減税率対策補助金について		
a. 知っていた・利用したい	3	
b. 知らなかった・利用したい	5	
c. 知っていた・利用する予定はない	5	
d. 知らなかった・利用する予定はない	4	
4. これから導入したいシステム・機器類		・受発注・請求・支払・会計処理まで。(卸・仲卸) ・特に受発注システムを入れたレジスター。(小売業) ・受発注システムは改修または新規導入が必要。(卸・仲卸) ・EDI等の受発注システム、会計システム、販売管理システム。(その他)
6. 記入者		
a. 生産者・出荷団体	1	※その他は「業種」無記入者
b. 卸・仲卸業	6	
c. 小売業	2	
d. 業界団体		
e. 官公庁	4	
f. システム会社		
g. その他	3	

n=16

4.2.15 沖縄会場 (1/27)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	11	<ul style="list-style-type: none"> ・軽減税率制度を知る良い機会となった。(官公庁) ・軽減税率の対象商品が何であるかが分かり易かった。(官公庁) ・税率区分の仕分けが大変だと感じた。(小売業) 	
b. ふつう			
c. 参考にならなかった			
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について			
		<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルな制度にしてほしかった。(システム会社) ・軽減税率ではなく、一律据え置きにしてほしい。(卸・仲卸) ・テイクアウト表示が難しい。販売側だけではなく消費者も完全に理解していないとトラブルになる。(小売業) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	1		
b. 知らなかった・利用したい	2		
c. 知っていた・利用する予定はない	3		
d. 知らなかった・利用する予定はない	5		
4. これから導入したいシステム・機器類			
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体			
b. 卸・仲卸業	5		
c. 小売業	1		
d. 業界団体			
e. 官公庁	3		
f. システム会社	2		
g. その他			

n=11

4.2.16 大阪会場 (2/16)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	17	<ul style="list-style-type: none"> ・現行で残る部分の説明もしてほしかった。(官公庁) ・Q&Aが最新で勉強になり良かった。自社システムが独自でかつ古いので対応が難しい。(卸・仲卸) ・勉強すべきことが多いのが分かった。(卸・仲卸) ・連絡請求書については、改めて勉強しなければならないと思った。(卸・仲卸) ・請求書のところをもっと説明してほしかった。(卸・仲卸) ・区分請求書の説明が分かり難かった。(生産者・出荷団体) 	
b. ふつう	8		
c. 参考にならなかった			
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について			
		<ul style="list-style-type: none"> ・複雑過ぎて生産農家に理解されないと。特に自分で加工・調理するケースではしんどくなる。(官公庁) ・今からでも軽減税率がなくてほしい。(卸・仲卸) ・対応が難しい場合が多々出てくると思われる。(卸・仲卸) ・小規模小売店の対応が急がれるが、負担が大きいと、高齢の店主は販売そのものを諦めるきっかけにならないか心配。(業界団体) ・税率は一律が良い。(卸・仲卸) ・問い合わせ窓口が分からず苦慮していた。国税庁のQ&A等を参考にさせていただく。(システム会社) ・非常にわかり難い。(その他) ・複雑で理解しにくいので、零細店の行方が心配。(小売業) ・補助金制度はあるが、それ以外にも経費が掛かると思う。(卸・仲卸) ・税率は統一したほうが良い。(卸・仲卸) ・消費税率の引上げが延期になったため、まだ実感がわかない。(卸・仲卸) ・複数税率への対応が、システム・人も含めて大変。(卸・仲卸) ・そもそも増税が間違っている。(卸・仲卸) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	9		
b. 知らなかった・利用したい	8		
c. 知っていた・利用する予定はない	2		
d. 知らなかった・利用する予定はない	6		
4. これから導入したいシステム・機器類			
		<ul style="list-style-type: none"> ・受発注システム。(その他) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体	2		
b. 卸・仲卸業	13		
c. 小売業	2		
d. 業界団体	1		
e. 官公庁	1		
f. システム会社	2		
g. その他	4		

n=25

4.2.17 京都会場 (2/17)

質問事項		集計結果	
1. 講演内容について			
a. 参考になった	17	<ul style="list-style-type: none"> ・軽減税率の内容を確認できた。・手間が膨大なことが分かった。佐藤先生の話は分かり易いが、前置きが長く感じた。(その他) ・変更点が多く、流動的だと理解できた。(小売業) ・とても分かり易かった。(卸・仲卸業) 	
b. ふつう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・軽減税率導入前に再度聞く必要がある。(小売業) ・話が分かり易かった。(卸・仲卸業) 	
c. 参考にならなかった	1		
d. その他			
2. 消費税軽減税率制度について			
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の準備が大変。これだけの手間をかけて、どれだけの効果があるのか知りたい。(その他) ・農水産事業者で直販に取り組む者も多く、そのような業者の免税(税額控除)がなくなる点、適格請求書登録が必要となりそうな点が気になる。今後、農林水産事業者向けの説明も必要となると思われる。(その他) ・一律10%にすべき。外税は続けるべき。(小売業) ・軽減税率の対象商品の境界が難しいと感じた。補助金も使い易い体制がとられていると感じた。(官公庁) ・現行の消費税が凍結されたら軽減税率の意味がなくなるのではないか。見直しは如何なものか。(業界団体) ・無駄である。(卸・仲卸業) ・食品の軽減税率導入は消費者にとっては良かったと思うが、やはり、商品の区分、請求書の表示等、事務が煩雑になると思う。今からでも軽減税率は中止！してほしい。(業界団体) ・複雑な印象を受け、不安を感じる。(卸・仲卸業) ・限界事例を把握することが必要。(官公庁) ・制度の普及には丁寧な説明が必要。特に一般消費者の理解は不十分と推測。(官公庁) ・事業者にとっていやな制度である。(卸・仲卸業) 	
3. 消費税軽減税率対策補助金について			
a. 知っていた・利用したい	4		
b. 知らなかった・利用したい	5		
c. 知っていた・利用する予定はない	8		
d. 知らなかった・利用する予定はない	5		
4. これから導入したいシステム・機器類			
		<ul style="list-style-type: none"> ・①組合の受発注システム②組合員の「レジ改修」への情報提供。(小売業) ・レジ変更。(小売業) ・受発注システム。(卸・仲卸業) 	
6. 記入者			
a. 生産者・出荷団体			
b. 卸・仲卸業	8		
c. 小売業	4		
d. 業界団体	2		
e. 官公庁	4		
f. システム会社			
g. その他	4		

n=22

平成 28 年度 中小企業庁補助事業

**平成28年度
消費税軽減税率対策窓口相談等事業
報告書**

平成29年3月

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構

〒101-0032
東京都千代田区岩本町 3-4-5 第1東ビル 6F